

相模原市の障害者支援施設における事件の検証及び再発防止検討チーム
(第5回)における主な意見

<中間取りまとめについて>

- 中間とりまとめの公表後、措置入院先の医療機関と自治体の対応が不十分と報道されているが、措置入院に関する指定医の判断や入院中の診療は標準的な水準であったこと、不十分な点については制度的な対応が必要であるということをも改めて確認したい。

<緊急措置入院・措置入院に関する今後の検討課題について>

- 医療で対応すべきケースかという点について、グレーゾーンがあるという共通認識を持つべきではないか。
- 警察官通報が行われたもののうち措置入院につながった割合等について、地域ごとにばらつきがあるため、実態を調査して検討を行うべきではないか。

<入院中の診察に関する今後の検討課題について>

- 措置入院は強制的な入院形態であるため、質の高い医療の提供をすべきではないか。

<措置解除時の対応に関する今後の検討課題について>

- 医療等の支援をどの程度の期間を行うのかについて、検討すべきではないか。
- どのような人を医療等の支援の対象にするのかについて、検討すべきではないか。

<措置解除以降の対応に関する今後の検討課題について>

- どのような情報をどのような関係機関で共有すべきなのかについて、検討すべきではないか。
- 精神医療の地域支援に係る取組は、犯罪の防止が目的ではなく、本人に対する地域支援を行うためのネットワークづくりが目的であることを現場に明確に伝えるべきではないか。

<施設における防犯対策について>

- 施設が守られる立場であることと、地域における支援の拠点であることの双方の視点を踏まえ、防犯に係る関係者が頻繁に出入りできる関係の中で具体策を検討することや、地域住民との関係づくりを進めるべきではないか。